

一般財団法人 切手の博物館

2017年度事業報告書

2017(平成29)年4月1日～2018(平成30)年3月31日

〔概要〕公益目的支出計画に基づき、郵便切手文化の普及と振興に寄与する事業を引き続き進めています。2017年度はホームページのリニューアル（モバイルフレンドリー化）、ツイッターの開始、企画展示のチラシ制作・配布など、広報の手法を見直しました。

また、博物館事業とともに郵趣助成事業の公益的活動を行なっていくうえで、その趣旨を一層明確にするため、法人名称を2018年4月1日から「一般財団法人水原フィラテリー財団」に変更することが、決議されました。

I. 継続事業

1. 資料の収集、保存、公開

(1) 企画展示・特別展示の開催

①企画展示

1階展示室で、3ヵ月ごとにテーマを替えて行いました。展示内容及び広報については、企画展示委員会において協議しています。

会期	展覧会名	開館日数	入館者数(名)
4月1日(土)～6月29日(木)	緑がいっぱい ～癒やしの切手たち～	77	3,043
7月1日(土)～9月30日(土)	働く車	80	3,557
10月5日(木)～12月28日(木)	世界の神様大集合	73	3,144
1月5日(金)～4月1日(日)	切手では仲良し～犬と猿	74*	2,547*
合計		304	12,291

*集計は3月31日(土)まで

②特別展示

○3階展示室で、有料展を次の通り開催しました。

会期	展覧会名	開館日数	入館者数(名)
7月22日(土)～8月23日(水)	きて★みて★きって2017	28	1,022
12月2日(土)～12月24日(日)	切手の博物館のクリスマス	20	1,132
2月3日(土)～2月14日(水)	切手の博物館でバレンタイン	10	358
合計		58	2,512

○3階展示室で、無料展を次の通り開催しました。

4月29日(土・祝)～5月4日(木・祝)…こんなにある世界遺産の切手

9月9日(土)～9月17日(日)…第15回切手はり絵コンテスト作品展

③特別展示準備作業

会 期	展 覧 会 名
2018年 4月18日(水)～4月24日(火)	日本の郵便と歩んだ井出家五代―地方郵便史の発掘―

※以下の期日に、豊島郵便局が臨時出張所を開設、小型印の押印サービスを実施しました。

5月18日(水)…国際博物館の日

7月23日(日)、8月23日(水)、9月23日(土・祝)…ふみの日

12月2日(土)・9日(土)・19日(火)～24日(日)…切手の博物館のクリスマス

2018年2月10日(土)・11日(日)・13日(火)・14日(水)…切手の博物館でバレンタイン

(2) 蔵書の公開

切手の博物館図書閲覧室では、蔵書を開架図書と閉架図書に区分し、一般の利用に供しています。閉架図書の利用は78名、426冊でした。

(3) 入館料の特典

- ①毎月23日・ふみの日(10月は休館日に当たるため24日(火))の入館料無料。
- ②「家族ふれあいの日」の毎月第1日曜日を、家族連れの小中学生入館無料。
- ③厚生労働省が推進する「児童福祉週間」[5月5日(金・祝)～5月11日(木)]の小中学生入館料無料。
- ④国際博物館会議(ICOM)及び(公財)日本博物館協会が提唱する第15回「国際博物館の日」(5月18日(金))の入館料無料。
- ⑤「緑がいっぱい」展にちなみ、「みどり」さん入館料無料。(6月のみ)
- ⑥「切手では仲良しー犬と猿」展にちなみ、戌年生まれと申年生まれのペアの来館は入館無料。
- ⑦バレンタインデー(2月14日(水))の女性の入館料無料。

(4) 資料の収集・保存管理

- ①日本及び世界各国の新切手を常時追加購入し、発行国・地域別にレファレンス・コレクションとして整理・管理を行っています。
- ②図書収蔵委員会を月1回開催し、郵便切手関連資料の購入検討、新規受入図書の項目別クロス・インデックス作り及び収蔵図書の件名統一を続けています。
- ③図書室へは40名の方から、179冊(単行本123冊、雑誌56冊)が寄贈されました。(公財)日本郵趣協会及び(株)日本郵趣出版発行の全刊行物、並びに郵趣団体発行の支部報や雑誌の寄贈も受けています。

2. 展覧施設の運営管理

(1) 来館者サービス

来館者の満足度を高めるために、以下のサービスを提供しました。

- ①1階のパソコン・コーナーでは、企画展示のテーマに合わせて全国の風景印を紹介するほか、切手の博物館のホームページの閲覧サービスを提供。
- ②展示の観覧を助けるルーペとハンドライトの貸出し。(利用人数 それぞれ43名、174名)

- ③図書室閲覧においては、国内外の新刊本・話題本などを紹介すると同時に、一部の書籍を販売。また、コピーサービスを提供。(コピー利用人数143名)
- ④すべての企画展示で、ホームページにプレゼント・クーポンを付けました。(交換人数380名)
- ⑤来館のたびにスタンプを押し、一定の数になるとプレゼントと交換できる「ウェルカム・カード」を発行。(プレゼントとの交換人数140名)
- ⑥小中学生向けに、展示を見て答える「切手クイズ」を実施。(参加者1,050名)
- ⑦小中学生向けに、ホームページでも「切手クイズ」を実施。(9月まで。参加者25名)
- ⑧切手の博物館のイベント案内や新切手の発行案内などを掲載した情報チラシ「MAYっこ」を、毎月1回、ふみの日(23日)に発行。
- ⑨1・2階の入館料を日本の未使用切手で支払えるサービスを実施。(利用人数616名)
- ⑩1・2階の入館を対象とした「年間パスポート」を発行。(期末在籍数64名)
- ⑪「緑がいっぱい」展期間中、緑グッズ提示でオリジナル・ポストカードをプレゼント。
- ⑫英文パンフレットの配布。
- ⑬公衆無線LAN「Wi-Fi」サービスの実施。

(2) 記念品の頒布

記念品として、日本及び世界各国の郵便切手類並びにスーベニアグッズを販売しています。

(3) 市民参画

- ①切手の博物館メンバー「MAY(メイ)」の会員を引き続き募集し、会員にはメンバーニュース「MAY」及び「受入図書リスト」を配布しました。期末の会員数は85名で、内訳はM(メジャー)メンバー54名、A(アシスト)メンバー31名、Y(ヤング)メンバー0名です。
- ②切手はり絵及び切手たんけん隊の補助役として、登録ボランティア制度を設けています。
- ③切手はり絵に使用する切手の区分には、ボランティア延べ33名の協力を得ました。また、近隣の高等学校ボランティア部活動を受け入れ、切手の区分などを実施しました(5回)。
- ④目白小学校教諭社会体験研修を受け入れました(1名、3日間)。

3. 普及啓発事業

(1) 施設内活動

- ①「国際博物館の日」(5月18日) 記念事業を開催。
 - 学芸員によるギャラリートーク(展示解説)…5月18日、参加者14名
 - 龍文切手500文リコンストラクションの特別展示…5月18日(木)～5月21日(日)
- ②日本郵便(株)の切手デザイナー(中丸ひとみ氏)とのコラボレーションによる手紙振興イベントを開催。
 - スペシャルトーク…12月23日(土・祝)、参加者60名
 - グリーティング切手「ムーミン」の原画スケッチの特別公開…12月23日(土)・24日(日)
- ③「切手の博物館のクリスマス」の展示と連動して切手マジックショーを開催(12月17日)。
- ④参加型のワークショップを開催。
 - 体験!切手はり絵…毎月第3日曜日、参加者341名

- ちょっとだけ体験！切手はり絵…平日(火曜～金曜)、参加者60名
- 切手たんけん隊…8月土曜日(4回)、参加者30名
- 世界の切手でカード&しおり作り…5月5日(金・祝)・2月16日(金)、参加者49名
- ⑤日本郵趣協会主催「スタンプショウ2017」のスタンプラリーとコラボして、「切手の博物館でスタンプを押して記念品プレゼント」を実施。(4月21日～4月30日、プレゼント169名)
- ⑥日本郵趣協会主催・切手の博物館協賛の「ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2017」及び第2回切手フェスタ(切手フェスタ実行委員会)に、切手はり絵ワークショップの材料提供。
- ⑦近隣の小学校(川村学園、目白小)の校外学習及び子どもサークルの体験学習を受入れ。
- ⑧2018年用年賀はがきの『裏話』をパネル展示。
- ⑨2018年度特別展示「日本の郵便と歩んだ井出家五代―地方郵便史の発掘―」(2018年4月開催)のカタログを兼ねた書籍を、展覧会に先駆けて刊行。

(2) 施設外活動

以下の活動を通じて郵便切手文化の普及並びに当館の周知に努めました。

- ①豊島区の「子どもスキップ」(放課後児童施設)において、「出張切手はり絵」を5回開催(参加者87名)。また、切手はり絵ワークショップの材料を13施設に提供。
- ②近隣の小学校(目白小)の図工教材として使用済切手を提供。
- ③近隣の中学校(豊島岡女子学園)の学園祭において、切手はり絵作品の出張展示を実施。(11月3日・4日)
- ④日本郵趣協会が行っている「切手趣味週間ミニ切手展」キャンペーンに協力し、全国の博物館など21ヵ所でミニ切手展を開催。
- ⑤日本郵趣協会の社会貢献事業「手紙を書こう！プロジェクト2017」を協働して推進。
- ⑥前出の「ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2017」のコンクール審査に審査員を派遣。
- ⑦郵便切手に関する国際文化交流事業を支援。

(3) 広報活動

- ①ホームページを大幅にリニューアルし、モバイルフレンドリーへ移行するとともに、ツイッターを開始しました(10月5日)。
- ②企画展示及び「体験！切手はり絵」をPRするチラシを作成し、近隣の施設、小学校などに配布しました。
- ③企画展示、特別展示、各種イベントを、ホームページ、フェイスブック及びツイッターで広報したほか、新聞・ラジオ・テレビ・出版社・Webサイトなどに発信しました。
- ④切手などに関するマスコミの照会・取材、また単行本や学習教材の挿絵用に切手を使いたいという申込みに、積極的に応じています。
- ⑤郵便切手文化に関する専門誌に展示などの案内をするほか、日本郵趣協会主催の展覧会に協力するなど、当館のPRに努めました。
- ⑥切手の博物館だより「MAYっこ」を1ヵ月に1回、豊島区の「子どもスキップ」などに送り、地域への広報に努めています。
- ⑦割引引換券を活用したり、様々な団体の会員特典に協力し、来館促進に務めました。

⑧日本郵趣協会が発行する切手カタログなどに図版を提供し、専門出版物において財団名をPRしました。

(4) 他館との交流

- ①郵趣イベント「We Love Kitte in KOBE」(We Love Kitte事務局主催、1月20日)にて、ミュシャがデザインしたチェコスロバキア最初の切手のフルシートを貸し出しました。
- ②京都外語大学学園創立70周年記念展「切手が語る歴史と文化」(2月17日～4月14日)にて、世界の指導者を描いた小型シートを貸し出しました。

4. 学術調査研究事業

(1) 調査研究

- ①紀要編集委員会の査読を経て、研究者の調査研究成果を取りまとめた「研究紀要」(第14号)を発行しました。
- ②日本博物館協会主催の全国博物館長会議、東京都博物館協議会総会・日本博物館協会東京支部総会及び各種研修会に出席し、他館との交流を図るとともに、学術調査研究事業の質的向上に努めています。
- ③科学研究費補助金の指定研究機関として、諸手続きを行っています。

(2) 鑑定

郵便切手類の真贋の鑑定を鑑定委員会のもとに行い、75点の鑑定書を発行しました。

5. 顕彰事業

「第15回切手はり絵コンテスト」を開催しました。「きて★みて★きって2017」期間中に作品募集を行い、全応募作品267点を展示するとともに、優秀作品には賞状並びに記念品を授与しました(特別審査員・豊島郵便局局長)。

6. 文化支援・助成事業

(1) 文化支援

- ①郵便切手文化活動の支援の場として、「切手バザール」(8回)及び「Otegamiフリマ」(日本郵趣協会と共催、4回)を開催しました。「Otegamiフリマ」では豊島郵便局が臨時出張所を開設、小型印の押印サービスを実施しました。
- ②日本郵趣協会主催の学術調査研究発表会などに3階展示室を提供し、公益活動を支援しました。

(2) 助成

- ①郵便切手文化の振興を図るため、日本郵趣協会主催の展覧会において、特別賞を寄贈しました(2件)。
- ②郵便切手に関する書籍の出版に対して、費用の一部を助成しました(8件)。
- ③博物館の社会貢献活動の一つとして、エントランスに専用ボックスを置いて紙付き古切手の寄付を募り、集まった古切手は公益法人等に寄贈する活動を続けています。

Ⅱ. その他事業

鑑賞・収集の対象となる日本及び世界各国の郵便切手類を、ミュージアム・ショップにて受託販売しています。

附属明細書（事業報告関係）

補足すべき重要な事項はないため、附属明細書は省略する。